

水稻



令和3年産早期水稻について



水稻
吉田 義文
指導販売課
0969-22-1105

いよいよ令和3年産の早期水稻も始まります。異常気象を受けにくい稲を作るには、まず健康な稲を作ること、健康な稲を作るには適正な育苗管理と適正な水管理を行うこと、そして土作りです。

また、昔から「苗半作」と言われています。早期水稻の場合、気温が低い厳しい条件下での田植えですので、苗の良否が初期生育に大きく影響します。品質の良い米づくりのために、健苗の育成に努めましょう。

本田の準備については堆肥や土壌改良資材の投入と、作土を15cm以上確保するよう心掛けて下さい。

育苗施設の点検・準備

約1ヶ月間の育苗期間となります。春一番等、突風被害が毎年見受けられますのでハウス資材の点検と修繕は早いうちに行いましょう。

健苗の育成

種子は充実した、健全なものを使いましょう。そのためには必ず種子選（比重選）を行って下さい。（比重 水 10リットルに塩 2kg）

病害虫防除のために種子消毒（エコホープ DJ200 倍液に 24 時間浸漬）と育苗箱の洗浄を行いましょう。

早期水稻の育苗日数は 25 日程度ですので、田植え日から逆算して播種日を決定しましょう。2 葉苗～ 2.5 葉苗の場合の播種量は乾粉で 150g（催芽粉では 180g）が基準となります。

播種に最も適しているのは、ハト胸状態の時です。そのためには十分に浸種を行って下さい。

また、水の入れ替えと、1 日 1 回は攪拌して水温が均一になるようにしましょう。

水田の準備（※元肥の施肥量の変更について）

近年、主食用米の購買者より他の産地と比較して全体的に痩せ米が多いとの指摘があります。その為、平成 30 年産より元肥の施肥量を 50kg へ変更しています。穂肥は 15 kg へ削減していますので注文の際はご注意ください。効果としては、初期育成の促進及び地力の向上を促しますので、実施の程宜しく願い致します。

野菜



シトウ・甘長とうがらし栽培



野菜
山下 伸一
下島宮農指導センター
080-1729-1630

露地栽培

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| シトウ | △ | | | | | | | |
| 甘長とうがらし | △ | | | | | | | |

定植：△ 収穫：■

定植

1. 植穴は、苗鉢よりもやや大きめにし、50～70cm 間隔であける。
2. 定植苗は、第一果房が開花する3～4日前の若苗を定植する。
3. 定植時には、アブラムシ・スリップス対策としてスタークル粒剤を1株当たり1～2g 植穴処理する。
4. 定植を行う際は、鉢土の上2cm 位が見える程度浅植えする。
※植え付けが深いと白絹病や疫病の原因となる。
5. 定植後、初期生育促進の為に、株元に液肥灌水する。
6. 定植後、直ちに支柱に誘引する。

定植後の管理

1. 定植後7～10日頃までは、鉢土が乾燥しないように株元に灌水し、根の活着を促す。
2. 活着後は、徐々に灌水量を減らし、根を深く張らせる。
3. 第一分枝以下の果実・脇芽は、早めに取り除く。

4. 定植後20日前後までに、本支柱及びネット張り（2m 間隔）を行う。

整枝・誘引

1. 整枝は、出来るだけ中心に光線が入るように摘芯する。
2. ネット張りは、樹の生育に合わせて行う。高くなった場合は、2段目を張る。

施肥量

| シトウ 10a 当り /kg | | | | 甘長とうがらし 10a 当り /kg | | | |
|----------------|----|----|----|--------------------|----|----|----|
| 必要成分量 | N | P | K | 必要成分量 | N | P | K |
| 元肥 | 30 | 25 | 30 | 元肥 | 15 | 20 | 15 |
| 追肥 | 10 | 10 | 10 | 追肥 | 15 | 15 | 15 |
| 合計 | 40 | 35 | 40 | 合計 | 30 | 35 | 30 |

詳しいことは各地域の担当者、又は栽培講習会等でお聞き下さい。

畜産



子牛の分娩後の管理について



畜産
井上 正一
黒牛産肉検定センター
080-1729-1626

授精後、約10月近くお腹の中にいた子牛が生まれてくることは畜産農家にとっては大変な喜びです。ただしこの時期が経営の中で一番重要な時期となります。今回は分娩後の管理について注意する事についてお知らせします。

子牛が順調に発育するためには母牛から良いおっぱいもらうことが必要です。次のことに飼養管理に注意しないと母牛は良いおっぱいをだしません。

餌に分解性タンパクが多すぎる（大豆粕・豆腐粕）

発生するアンモニアが増加して乳にも混入する

濃厚飼料が多すぎる

乳が出過ぎて飲み残しが出て次に飲む時は傷んでいる

餌の量が足りない

子牛の免疫が低下する

また、子牛の発育のためには早い時期より餌付け飼料（モーレットなど）を与えることが重要です。生後3ヶ月齢までに餌付け飼料を充分与えることにより、第1胃の絨毛の発達を促すことが、牛を大きく丈夫に育てるための第一歩となります。同時に新鮮な水も充分与えてください。



2月柑橘園管理

果樹
原口 悠貴
下島営農指導センター
080-2725-7775

露地デコポンでは、収穫が終わりポリ個装をすすめている時期と思われる。水腐れ・ヤケ果の発生がみられておりますので、選別時に混入が無いよう注意しましょう。また、これから収穫する品種については、天候に注意し適期貯蔵病害対策を行ってください。

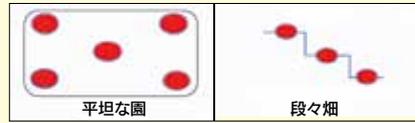
1. 樹勢回復対策

収穫が終了した品種では、チッ素主体の葉面散布を短期間で行い樹勢回復に努めましょう。

| 薬剤名 | 希釈倍数 | 備考 |
|------------------------------|------|-------------------|
| 尿素 アミノジューシーN14 神協スピリッツ | 500倍 | 収穫後3回程度集中散布を行いましょ |

2. 土壌改良・施肥設計計画（土壌分析の実施）

良い作物作りはまず健全な土づくりから始まります。JAでは土壌分析を行い園地の状況に沿った施肥設計を行っています。土壌分析を積極的に活用し、高品質果実生産を行いましょ。



・土壌分析時の土の取り方

平坦な園地では●で示した5か所から土を採ります。また、段々畑の場合は、各段の真ん中付近の土を採ります。その際表層から5cm下の土を取り除き、その下の土を15cm程度垂直にとります。その後陰干しを行い良く乾燥させます。(石などはこの時に除いて下さい)
乾燥が終わりましたら500g以上土を袋に入れ、JAにお持ち込み下さい。
※分析料として、1サンプル当たり3,000円程度です。

・土づくり

10a当たりの目安量となりますので、表の基準を参考に投入してください。
また、ヤシガラ単体では水をはじき腐植が進みませんので、必ず土と混ぜて施用しましょ。

| 時期 | 資材名 | 10a当たり | 備考 |
|---------------|-----------|---------|--------------------|
| 2~3月 (収穫後) | 堆肥 | 2,000kg | 完熟物 |
| | 客土 | 4,000kg | 3cm以内 |
| | ヤシガラ | 20袋以上 | 2キュービック(120ℓ/11kg) |
| | 土の恵み | 12袋以上 | 堆肥・ヤシガラの代わり |
| | 天然フルボ酸(粒) | 3袋 | ミネラルバランスの調整 |

・施肥

| 時期 | 資材名 | 対象品種 | 10a当たり | 備考 |
|------|--------------|---------------------------------|--------|---|
| 2月上旬 | 炭酸苦土石灰 | 全品種 | 10袋 | |
| | 新有機 中晩柑一発 | 河内晩柑・ 清見・甘夏 パール柑・ デコポン | 10袋 | 超省力化タイプ (年1回施肥) (11月施肥をして いる場合2袋減) |

3. 剪定について

まず園地全体が密植の場合は、思い切って縮間伐から行いましょ。その後剪定に入ります。
令和2年産成りが少なかった園では着花量が多いと考えられますので、思い切って剪定しましょ。
逆に成りが多かった園では、着花量が減少し裏年となる傾向にあります。その場合、剪定時期を遅らせ間引き主体で軽めに行い、あとは着花を見て行うようにして下さい。

子牛セリ市開催

1月17日に天草家畜市場で今年最初の子牛セリ市が開催されました。子牛のセリ市は奇数月の17日に開催されています。

JAあまくさ管内からは163頭(全体で311頭)の子牛がセリにかけられ、平均価格は772千円(全体平均は778千円)となり11月のセリと比較して約22千円(全体では16千円)と、やや下回りました。次回のセリは3月。コロナ禍の影響による価格の落ち込みが心配されています。



天草の花全国へ

12月、JAあまくさ花卉部会ではクリスマス・年末に向けて花卉集荷のピークを迎え、大矢野集送センターへカスミソウ、トルコギキョウ、金魚草をメインにその他切り花類約12,000ケースを出荷し、全国へ発送しました。花卉部会の川口望部会長は、「コロナ禍で農家は打撃を受けているが、これからも花卉部会員一同、生産向上に努め天草の花を全国へ届けたい」と話しました。

